



代っ子通信

令和6年5月2日

<第5号>

校長 平塚智康

春の遠足 ～子どもたちの豊かな感性や情操を育む～

4月26日(金)、春の遠足が行われました。1年生は大堰宮(おおひのみや)公園、2年生は松籟(しょうらい)公園、3年生は勅使法皇山(ちやくし・ほうおうざん)、4年生は加賀市中央公園、5年生は大聖寺山の下寺院群・古九谷の杜、とそれぞれの学年に応じたコース(距離)で目的地に向かっててくと歩きました。お昼の休憩タイムには、友達と仲良くお弁当やおやつを頬張りながら、笑顔いっぱい・幸せいっぱいの表情を見せていました。この日は、初夏のような暑さで、帰りはややばて気味の人もいましたが、子どもたちは最後までよくがんばって歩きました。

私は、4年生といっしょに遠足に出かけました。遠足の道すがら、子どもたちは「この桜、まだ咲いとるわ。きれいやね。」「あ、田んぼにオタマジャクシおる!」「見て見て、北陸新幹線や!」・・・など自然や町の様子について、いろいろなことに気づいていました。「あ、ほんとかや!」「よく見つけたね。すごいね〜。」「校長先生も、北陸新幹線に乗ってみたいなあ。北陸新幹線ってどこまで行っとるか知っとる?」などと子どもたちの発見に驚いたり、共感したり、質問を投げかけたり、と何気ない時間ですが、子どもたちと関わりながら、楽しいひとときを過ごしました。

私は、このような子どもたちとの関わり方が、教育的にとっても大事だと思っています。こうした大人の関わりが、子どもたちの好奇心を高めたり、自然や社会への探求心を喚起したり、豊かな感性や情操を育んだりするからです。子ども時代にこうした大人との関わりの時間や体験をたくさん持てるとよいなあと思っています。さて、明日から、GW後半が始まります。お金をかけて遠くに出かけなくても、子どもたちの「今」や「未来」を幸せにする方法はいろいろあります。どうぞ、お子さんと素敵な時間をお過ごしください。

<1年生 大堰宮(おおひのみや)公園>



<2年生 松籟（しょうらい）公園>



<3年生 勅使法皇山>



<4年生 加賀市中央公園>



<5年生 大聖寺山の下寺院群・九谷焼美術館>

